

FINE

Freedom/International/Necessity/Experience

第336号 2024年6月号



- ・2024年度分の年会費を受け付けております。(個人2,000円、学生1,000円)
 - ・新年度の異動や進学などで住所変更があった方はお知らせください。
 - ・情報紙のメール配布も受け付けております。
- 私たちと一緒にいろいろな活動をしませんか?お気軽にお声がけください。



総会記念講演会

会員総会 記念講演会にご出席ください



場 所 会津若松市文化センター(城東町14-52) 会議室

◆会員総会 14:00~15:15

◆記念講演会 15:30~17:15 **※会員外の方も可。申込み6/7まで。**

タイトル 「日本語教育の現場より
~思いやりのシン・コミュニケーション術~」

講 師 笈川 幸司 氏
(NPO法人日本語スピーチ協会 理事長)

◆懇親会 18:00~20:00 場所:ビーンズ(栄町2-25)

会費:4,500円(学生3,500円) 定員:50名(先着順) 締切:5/31

記念講演会では、日本語教師として世界で活躍する笈川 幸司先生をお迎えします。日本語学習者を惹きつける指導法と、多文化共生時代にみんなに身につけてほしいコミュニケーション術についてお話しいただきます。

◆6月8日(土)は会員総会のため、午後12:00より協会事務所を臨時閉館いたします。

会津で世界と会話しよう! 英会話サークルFIND

ファインド

英語を話しにきませんか? FIND(ファインド)は英語が好きな方、英語を話したい方、外国の方と英語を使って交流したい方等、誰でも参加できる場です。英語のレベルも問いません。ゲームをしたり、テーマを決めてグループトークをしながら楽しく英会話を練習します。



日 時 6月15日(土) 10:00~11:30
場 所 会津稽古堂3階 研修室1
参加費 無料
申込み 6月14日(金)まで
※どなたでも参加できます。

地球ちよい旅



教えて! バングラデシュの魅力

当協会の大人気イベント“地球ちよい旅”の今回の旅の目的地は、インドの東側にあるベンガル湾に面したバングラデシュです! 国土は日本の4割程度、人口は1億7,119万人(2022年、世界銀行)、豊かな緑と多くの川や水路が特徴です。

柳津町在住のオマル オサマさんから、バングラデシュの文化や伝統、お祭りや民族楽器についてお話しいただきます。

オサマさん自身も非常に興味深い経歴の持ち主なので、楽しい時間になること間違いなしです。(オサマさんについては、3 ページをご覧ください)



日 時 6月29日(土) 10:00~11:30
場 所 会津稽古堂3階 研修室1
内 容 バングラデシュの文化紹介
ゲスト オマル オサマさん
(バングラデシュ出身)
参加費 無料
定 員 30名
申 込 み 6月28日(金)までに当協会へ



国際交流フェスティバル2024 10月5日(土)開催! (場所:鶴ヶ城体育館)

今年も盛りだくさんの内容で楽しい企画をお届けします。詳細は今後のFINEでお知らせします。





こんにちは
事務局です

ようこそ！会津若松市国際交流協会へ AWIAウェルカムパッケージができました！



平成8年に設立し、今年4月に28周年を迎えた当協会ですが、「国際きょうりゅう？交流？知らない、会津にそんなのあったんだ〜！」と今でも言われることがあり、悔しい思いをしています。せめて会津に引っ越してきてくれた外国出身の方に、すぐに当協会の活動を知ってもらえるよう、ウェルカムパッケージを作りました。封筒の中には、

①会員募集多言語ポスター（英語、中国語、ベトナム語）②パンフレット
③入会申込書 ④情報紙4月号（日・英・中・ベトナム）
が入っています。

市民課に頼んで、転入してきた外国出身の方に渡してもらうようにしました。協会にも置いてありますので、もし皆さんのお知りあいで会津に住んでいるけれども協会を知らない方がいたら、ぜひお渡しください。

これも国際交流！ 知ってる？レインボーフラッグ

特集

6月は「Pride Month（プライド月間）」と呼ばれています。LGBTQIA+をはじめとする性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）のコミュニティを祝福し、差別や偏見の無い、公正で平等な社会を目指すために設けられました。世界各地でもさまざまなイベントが開かれます。福島県では、福島市で2020年より「ふくしまレインボーマーチ」も開催されています。セクシュアル・マイノリティへの理解は、SDGsの理念でもある「誰ひとり取り残されない」とも深く結びついています。近年、LGBTQIA+へ認知や取り組みが、さまざまな企業や団体でも増えていますが、日本ではまだ知らない人も多く、認知度も低いです。そこで今回は6月のプライド月間に合わせ、みなさんへ知ってもらおうきっかけとして、特集を組みました。なぜ6月が「プライド月間」と呼ばれているのでしょうか？その歴史や言葉を振り返り、実際にセクシュアル・マイノリティでもあるAさん（仮名）にお話をお聞きしました。



LGBTQIA+とは？

- ・L 「レズビアン(女性が好きな女性)」
 - ・G 「ゲイ(男性が好きな男性)」
 - ・B 「バイセクシャル(男女両方が好きな人)」
 - ・T 「トランスジェンダー(身体の性と心の性が異なる人)」
 - ・Q 「クィア、クエスチョニング(さまざまな性的指向、性自認がはっきりしていない、または意図的に決めていない人)」
 - ・I 「インターセックス(身体の性に関わる部位が一般的な男女のかたちとは異なる人)」
 - ・A 「エイセクシャル(誰にも性的指向を持たない人)」などを指します。
- 「+（プラス）」はLGBTQIA以外の多様な性を表しています。そのため「LGBTQIA+」は、まだ表現できていないセクシュアルを含む表現です。



なぜ6月が「プライド月間」？

1969年6月28日、アメリカのニューヨークのゲイバー「ストーンウォール・イン」にて、警察によるアルコール類の販売管理法違反を名目として、不当な踏み込み捜査が行われました。そこにいた人たちが抵抗し、3日間に及ぶ暴動へと発展しました。のちに「ストーンウォールの反乱」と呼ばれるようになり、この事件が転換期となって、翌年の6月28日に、ニューヨークで世界初のプライドパレードが開催されました。その後、世界各地で行われるようになりました。

なぜ色がレインボー？

美術家で公民権活動家のギルバート・ベイカーが、ゲイコミュニティの誇りを示すシンボルを作ってほしいと頼まれ、デザインしました。ピンクは「セクシャリティ」、赤は「生命」、オレンジは「癒し」、黄は「太陽」、緑は「自然」、ターコイズブルーは「芸術」、藍は「平穏」、紫は「精神」という意味がこめられています。それぞれの意味が重なり合うことで虹になる、という意味も込められています。最初は8色でしたが、印刷理由等により、現在は6色となったそうです。2020年からは黒・茶・水色・ピンク・白を加える旗もできています。

会津で2年ほど暮らしたAさん(アメリカ出身)にインタビューを行いました。Aさんはゲイ(男性が好きな男性)で、会津でセクシュアル・マイノリティであった立場から、会津での暮らしをどう感じていたのかお聞きしました。

会津での生活は快適で、安心感がありました。しかし、会津にはLGBTQIA+のコミュニティがないため、ゲイとして孤独に感じることもありました。会津でゲイであることは少し難しいと感じました。ほとんどの人は親切でしたが、中には「ゲイ」が何なのか知らない人もいて、私がゲイだとわかると奇妙な態度をとる人もいました。

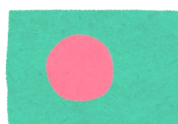
ボーイフレンドと一緒に初対面の人に会うと、その方達はすぐに私たちのことを「親友」と呼びました。私たちはそれを訂正しませんでした。彼らはホモフォビア(同性愛者を嫌う人たち)かもしれないし、ただ知らないだけかもしれないかもしれません。公の場では、私たちはただの「友達」ですが、自分の快適な家の中では、私たちは4年間一緒にいて、もうすぐ結婚式を挙げる予定の「恋人」です。日本では、ゲイはストレート(異性を好きな人)と同じ権利を持っていないことを、抑圧的だと感じることもありました。ゲイが結婚できない国に住んでいることは、ゲイの日本人にとって悲しいことだと感じます。幸い、私たちは母国に帰って、もうすぐ結婚することができますが、誰もがそのような特権を持っているわけではありません。



※Aさんには他にもいくつか質問をしました。とても考えさせられる回答をしていただきましたので、今後のFINEでお知らせします。

国際交流
深イイ話

オサマ オマル さん
Osama Omar



バングラデシュ出身のオマル オサマさんは、2022年に妻のサミラさんとともに、カナダのトロントから福島県柳津町に移住しました。オサマさんとサミラさん、そして赤ちゃんのアイシャちゃんは、当協会の「外国語おはなしのへや」イベントに協力してくれたこともあります。来る6月29日（土）の「地球ちょい旅」で、オサマさんにバングラデシュの魅力をお話していただきます。みなさん、ぜひご参加下さい。詳細は1面をごらんください。

自分の文化の大使であり続けて！

皆さん、こんにちは！私はオマル オサマと申します。柳津町のJETプログラム(注1)に参加し、地元の学校で英語を教えています。私はまた、柳津町の国際関係コーディネーター(CIR)として、バングラデシュとカナダの国際協力や文化交流を推進し、地域イベントの開催を支援する仕事をしています。どうして私がこの仕事をやることになったのか、皆さんは疑問に思うかもしれませんね。運命はときどき不思議な働きをします。

私は自分を「世界市民」と紹介することがあります。それは私のルーツが原因です。私はカナダ人ですが、バングラデシュのダッカで生まれました。幸運なことに、私は日本で13年間の素晴らしい子ども時代を過ごし、小学校を卒業した後、カナダに移住し、多文化都市トロントに定住しました。3つの異なる文化圏で成長した私は、世界がどれほど広いかを知りました。人生は巡り巡って一周します。そして、世界は広いようで、意外に狭いのです。私は今、会津地域の田舎に住んでますが、この田舎の生活と私のルーツがつながるようになることを、以前は想像すらしていませんでした。



トロント大学を卒業した後、私はJICAや日本大使館でさまざまな仕事を経験しました。初めて福島県に来たとき、柳津のような小さな町が私の出身地バングラデシュのダッカとつながっていることを知り、非常に驚きました。柳津町の町長と地元議会の議員たちは、現地への長年にわたる協力と交流を通じて友好関係を築きました。柳津町と地元の企業はバングラデシュに学校、コミュニティセンター、病院を建設するための資金を支援しました。そして、私の経験や知識が認められ、私はCIRとして両文化の橋渡しをする役割をオファーされたのです。

人生がどんな冒険を私たちに用意し、私たちをどこへ導こうとしているのか、それは誰にも分かりません。私が皆さんに伝えたいのは、チャンスが訪れたときには、決してそれを無視してはいけないということです。妻のサミラと一緒に料理教室を開催したり、赤ん坊の娘アイシャと一緒に会津の人々にバングラデシュの伝統やお祝いを紹介したりしたことは、ささやかですが、とてもやりがいのある経験でした。私は、こういう活動を通して、バングラデシュの首都ダッカと、美しい自然に囲まれた福島県の柳津町の、文化と伝統の架け橋であり続けたいと思っています。



皆さんにはどうか、自分のルーツを忘れないでほしいのです。それはどこに行ってもあなたについてきます。自分のアイデンティティを誇りに思い、物語を伝えてください。そして、自分の文化の大使であり続けてください。私は未来に希望を持っています。私たちは夢や希望、信念や価値観を他人と共有することができます。民族、宗教、肌の色が異なっても、人類は調和と受容の世界を築けると、私は心から信じています。



最後に、私はこの素晴らしい会津若松市国際交流協会のコミュニティーの一員であることに感謝しています。

注1：JETプログラムとは、語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。

6月のイベントカレンダー

1	土	13:00 幹事会 15:00 子ども日本語ひろば
2	日	休館日
3	月	休館日
4	火	
5	水	
6	木	18:30 日本語会話教室(夜)
7	金	10:00 日本語会話教室(昼)
8	土	9:30 ハローワールドクラブ 14:00 会員総会・記念講演会
9	日	休館日 10:00 外国語おはなしのへや
10	月	休館日
11	火	
12	水	
13	木	18:30 日本語会話教室(夜)
14	金	10:00 日本語会話教室(昼)
15	土	10:00 英会話サークルFIND 10:00 出張JICAデスク 15:00 子ども日本語ひろば 15:00 高校生ワークショップ
16	日	休館日
17	月	休館日
18	火	
19	水	
20	木	18:30 日本語会話教室(夜)
21	金	10:00 日本語会話教室(昼)
22	土	9:30 ハローワールドクラブ
23	日	休館日
24	月	休館日
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	10:00 日本語会話教室(昼)
29	土	10:00 地球ちよい旅 バングラデシュ 13:30 情報紙発送作業
30	日	休館日

JICAボランティア春募集と個別相談会

自分の持っている技術と経験を世界で生かしてみませんか？詳しくはウェブサイトをご確認ください。応募の検討以外でも、将来の選択肢として知りたいという方もぜひご連絡ください。応募期間は5月17日～7月1日正午まで。<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/>

■福島県JICAデスク 協力隊個別相談【随時受付中、要予約】
申込み 福島県JICAデスク松山まで直接メールで
メール:jica_fukushima_desk@jica.go.jp

情報紙 メールに切り替えませんか？

いつも情報紙をご覧いただき、ありがとうございます！会員さんには、情報紙を郵送しておりますが、9月からの郵送代の値上げも考慮し、メール送付の希望者を募っております。メールに変えた会員さんからは、「メールだとカラー版で見やすい」と好評です！メールが良いと思う方はmail@awia.jpまで。

JICA青年研修 ホストファミリー募集中！

JICA(国際協力機構)では、開発途上国の青年を対象に、それぞれの国で必要な分野の研修を行っております。当協会では観光分野を専門とするベトナムの青年を受入れ、会津での2泊3日のホームステイを行います。ぜひ、ベトナムの未来を作る若者の研修にご協力ください。

期 間 7月26日(金)夕方～28日(日)午後 2泊3日
募集家庭 13家庭(1家庭1名お願いします)
内 容 ベトナムの青年(20代～30代の男女)の
ホームステイ受入れ
謝 礼 食費程度の謝礼を用意します。
問合せ・申込み 当協会まで
申込締切 6月15日(土) ※先着順(会員優先)

出張JICAデスク

JICA福島デスクの松山さんが当協会に滞在します。海外協力隊のお話を聞きたい方はお問合せ下さい。

日 時 6月15日(土)
10:00～
場 所 当協会

情報紙発送ボランティア

当協会の情報紙の袋づめなど簡単な作業です。予約は必要ありません。出入り自由です！

日 時 6月29日(土)
13:30～
場 所 当協会

来月

日本語サークル「あつはな」は7月13日(土)に行う予定です。7月2日(火)から受け付け開始です。詳細は来月号(7月)の情報紙をお待ちください。

会津若松市国際交流協会

〒965-0871 会津若松市栄町2-14
リオン・ドールガーデン5階
TEL:0242-27-3703 メール:mail@awia.jp
Webサイト:https://www.awia.jp

イベントの最新情報をお届けします！



メール申込み用
QRコードも
ご利用下さい